

ひ ろ ば

吹田ホスピス市民塾会報誌

Vol.24

第 24 号 2017 年 7 月 1 日発行

吹田ホスピス市民塾

発行者：小澤和夫

吹田市藤が丘町 27-1-405

TEL/FAX：06-6388-6257

E-mail：ozak200@nifty.com

URL：suita-hosupisu.jimdo.com

がん患者さん、サバイバー、ご家族の皆さんに ～ピアサポーター養成研修に参加を～

会長 小澤 和夫

1 今後の重点方針～「がんになっても安心して暮らせる吹田の街づくりを目指して～

(1) がん患者さんのお悩み相談の強化

現在、3箇所、月4回10時間、相談の場を設けています。そこで最も強く感じる事は、「多くの皆さんが何をどう考えればよいか分らずに、お悩みになっていらっしゃる」「悩みを聞いてもらう中から、自分の考えが固まって明るくなられる」。

大変大きな役割を果たしていると実感しています。

(2) 人生の最期をどこで、どのように過ごしたいかの希望を叶えられるネットとシステムづくり ～「吹田在宅ケアネット」(代表世話人吹田市民病院副院長戎井力) に参画

2 相談コーナーを増やしたい～そのためのピアサポーター研修に参加を

現在3箇所の相談コーナーを今後さらに増やしていきたい・・・将来的には10カ所も。当面は、来春移転の吹田市民病院（JR岸辺駅前）の患者サロンで、更には「ラコルタ」（阪急南千里駅）などでもと考えています。

相談コーナーではいろんな相談が持ち込まれますが、医療については対象外で、専ら各種情報のお知らせと傾聴をベースにしたお話し対応（お話を伺う）です。

ただ、そこでの対応は微妙な点があるので、一通りの心得ごとを学ぶ必要があり、それが「ピアサポーター養成研修」です。

そのために、がん患者さん、サバイバー（経験者）、ご家族、がん患者さんと深く関わってきた人、強い関心をお持ちの方、の皆さんの参加をお待ちしています。また、皆さんのお知り合いの方で興味をお持ちの方へのご紹介をぜひお願い致します。

3 今年のピアサポーター養成研修

4年目になる研修は、一昨年指導いただいた、名古屋の「NPO法人ミーネット」に再度お願いする事としました。

11月から来年2月にかけて、「ミーネット」による指導を2日、当市民塾の事例を中心に研究会を1日、いずれも日曜日5時間の予定です。

「ミーネット」は、名古屋市と「名古屋市がん相談情報サロンピアネット」を協働で運営、また愛知県下の11のがん診療拠点病院でピアサポーターとして活動している、全国的に最も優れた市民グループの一つです。

具体的なスケジュールが決まり次第お伝えしますが、参加を検討したい方は取り敢えずご連絡ください。

4 相談コーナーに：気軽に、時間もご自由に、覗いてみてください。

現在、次の3箇所でお話しの機会を設けています。そちらへも是非、お顔出しを。
なお、日程は「ひろば」「ホームページ」に記載していますし、不明の点は電話などでお問い合わせください。いずれも予約不要です。

吹田がん患者家族会・吹田ひまわりの会(ご遺族の会)

【会場】男女共同参画センター(デュオ) アサヒビール吹田工場前の片山神社横
【開催】毎月1回(同日開催、会場は別) 13:30~15:30

10人弱の皆さんがテーブルを囲んで司会者を中心に情報交換や自由懇談。

がんサポートカフェ

【会場】ファミリーマート 栄通り商店会店 2階イトイン
【開催】毎月第3金曜日 14:00~16:00

1階で飲み物を買って2階へ。司会ナシで、自由に話し合い。
井戸端会議の延長の雰囲気。参加は、時間内で自由。

吹田がん情報コーナー

【会場】吹田市役所1階ロビー
【開催】(原則)毎月第2・4木曜日 13:00~16:00

1対1で、ピアサポーターとゆっくり話し合い。
各種情報のお知らせ、お悩み何でも相談。



がんサポートカフェのようす

PRチラシを作っています

お近くにご興味のある方がいらっしゃれば
ご案内に是非ご活用下さい。

Peer-Support 吹田ホスピタリズム
がんピアサポートのご案内
患者さん、ご家族、そしてご遺族の皆さん、想いを話せる場所があります
吹田ホスピタリズムが実践する4つのピア・サポート
1 個別にじっくり相談 吹田がん情報コーナー
2 経験者から気軽に がんサポートカフェ
3 患者・家族の仲間でお話し合い 吹田がん患者・家族会
4 患者・家族の仲間と食事や会合を行うことも 吹田ひまわりの会

「吹田がん情報コーナー」、新体制に発展～吹田市も後援を

3年前の'14年5月にスタートした「吹田がん情報コーナー」、この間、140名の相談者がお見えいただきました。

相談内容は実にさまざまですが、感じる事はがん患者・ご家族の皆さんが、どれだけ情報を求めて、大きな、そして多くの不安と悩みをお持ちか。医療者にもご家族にも話しにくい心境をお気が済むまで1時間、2時間お話をしていけます。

医療に関する直接的なお話はできませんが、お尋ね頂いた情報については複数を提供して、相談者に選んでいただくようにしています。そして、基本は「傾聴」です。当方から指示・結論めいたことは言わないで、相談者の気持ちを精一杯お話し頂く・・・その中からご自身の考え方を固めていかれるように思います。

そしてそれは、相談者にとって大変貴重な体験で、必ずお役に立っていることを強く感じます。ですから、こうした「相談コーナー」は今後益々拡充していかなければならないと思います。

こうした3年間の実績を評価していただいたのでしょうか、4月1日付で吹田市も後援いただく事になり（これまでは吹田市民病院のみ）、次のように体制が進化しました。大変嬉しい事です。

- ①開催が定期に：原則、毎月第2・4木曜日の午後（1～4時）に、年間日程が決定。
- ②市報への掲載が毎月：当市民塾の定例会等の催事については、「まちづくり市民塾」のお蔭で、毎月市報に掲載して頂いてきましたが、「コーナー」については市民病院の後援であることから3か月に1度の掲載となっていました。それが7月から一本化して、「コーナー」についても毎月の掲載となりました。市報の効果は大変大きいので、今後より多くの相談者が増える事が期待できます。
- ③重いテーブルの運搬が軽量に変更：開催日には、重いテーブルを2階から1階に上げ下ろしをしてきました。事故を心配してきましたが、当市民塾で軽量のテーブルを購入して、保管は市役所内をお願いすることが決まりました。

吹田市の配慮に応えるためにも、「コーナー」の更に大きな「お役立ち」につながるように努力をしなければと思います。

(小澤)



正面入り口に入って左側で開催しています。



大阪府第3次がん対策推進計画に、 大阪がん患者団体協議会から提案

5月23日14～16時、大阪市内で、大阪府がん対策グループに対して、24項目の提案を致しました。

当市民塾からは2点の提案を。

①緩和ケア研修のフォローのための「地域で在宅医ネット」を

全国的にPEACE(緩和ケア)研修を進めているが、2日間の研修だけでは不十分。拠点病院では専門医がいるが、在宅医には地域ネットでのフォローが必要。

②府内に、「大阪府がん情報サロン」(仮称)を新設、できれば数か所：がんに関する相談は本来はがん診療拠点病院でが原則であるが、現実には、相談場所を知らない、敷居が高くて出かけるのが、医療以外の事をゆっくり相談できない、などの理由で、多くの、大きな不安をお持ちの方が非常に多い。がんの相談場所をはっきりさせることで解消する。

なお、この「計画」は来年度以降6年間の計画を来年3月までに策定する。

ドキュメンタリー映画会 「いきたひ～家族で看取る～」

5月14日(日)13:30～16:45、大和大学で、「いきたひ」吹田上映実行委員会主催で開催。長谷川ひろ子監督ががんの夫を自宅で看取った体験を中心に、「人の最期はどうあるべきか、人間として本当の幸せとは何かを問うもので、150人もの観客がお見え。なお、当市民塾も「協賛」させて頂いた。

「吹田在宅ケアネット」世話人会

5月18日(木)18:30～19:30、吹田市民病院で。代表世話人村田幸平氏(市民病院副院長)の異動に伴い、戎井力氏(市民病院副院長)が後任に決定。

今年のボランティアフェスティバル

5月28日(日)午前10時から午後3時まで、吹田市役所駐車場に置いて、恒例のボランティアフェスティバルが開催されました。市民塾からは会員8名が参加、チラシを配って歩く方、ブースの前で声掛けをしていただくなど進んで活動をしていただきました。

しばらくぶりの会員の方が「会費を払いに来たよ！」と立ち寄っていただいたり、「このところやっと体調が戻ってきて・・・。」などと話していかれたり、楽しいひと時もありました。

今年のボランティアフェスティバルは、『担当会員が出来るだけ責任をもって準備と運営にあたる。』という事で担当として手をあげました。と言っても、当日のブース設営のみの参加でしたが。

今までのどの行事も小澤会長の負担が大きく、会員は当日参加させていただきだけの状態でした。これでは今後の会の運営に支障があります。多くの吹田市の行事は、その行事に向けての準備委員会が数回あり、終了後は反省会が開催されています。準備委員会から参加することで行事の成り立ちや目的、参加者の顔ぶれ・連帯感も生まれます。

会員自身にも仕事の事、家族の事、自分自身の健康状態など制約があります。その制約の中で会員同士が協力し合って行事に参加することで、会員同士の連帯感や親睦が図る事ができ、次の活動への好循環が生まれると思います。

少し時間があつたら、市民塾の活動を覗いてみてください。お待ちしております。(益田)

アステラス製薬 ピアサポート研修 in 京都

今回、アステラス製薬主催のピアサポーター研修に、小澤会長と共に初めて参加させていただきました。6月17日午後から18日にかけて合計8時間の研修でした。

参加者は11団体18名、がん患者団体から難病団体、子供の難病や心臓病の団体など、初めて知る病気や病名など様々な背景の方々が参加されていました。

研修はグループワークを中心に行われましたが、少人数だったこともありすぐに打ち解けられ、リラックスして研修を受けることができました。

参加者の体験談や問題点など、今までの市民塾の活動では知らなかった話を聞いて大変参考になり、また様々な患者会（パーキンソン病、神経内分泌腫瘍、ウェスト症候群、ナルコレプシー等）があることを知り、これを機に一層横のつながりが発展すればよいと思いました。

ただ今回の研修では講師の講話が少なく、資料は配布されたものの説明もあまりなされず、初めての参加にとってはピアサポーターの目的や役割などが基本的なことが理解できたのか疑問であり、またピアサポーターにとって大切な傾聴に関しても説明が足りないという印象でした。

吹田ホスピス市民塾では今年もピアサポーター研修を計画していますが、私たちの研修はもっとレベルが高いように思います。（自信過剰でしょうか？）

いずれにしても、このような外部研修にも参加して、ピアサポーターとしての技術をもっと高めていきたいと思いました。（益田）

お 知 ら せ

2017年度 公開講座開催

共通テーマ：「がん患者さんの在宅ケア」

第1回 8月26日（土）14：00～16：00

講師：①在宅医：おきしろ在宅クリニック 沖代 奈央氏

会場：デュオ（男女共同参画センター） 会費：300円

第2回 11月（土・日程は未定）14：00～16：00

講師：②調剤薬局：岡村薬局 岡村俊子氏

③訪問看護ステーション：リード訪問看護ステーション 三輪 真由美氏

会場：デュオ（男女共同参画センター） 会費：未定

第34回「みんなの健康展」出展

今年は9月9日（土）吹田市総合福祉会館にて開催、吹田ホスピス市民塾も出展します。詳しくは市報をご覧ください。

「おしゃべりサロン」が始まります

9月から患者会・遺族会終了後、趣味の集い「おしゃべりサロン」を始めます。詳しくは別紙をご覧ください。

新連絡網開設について

会員さんへこれまで以上にタイムリーに情報をお知らせするため、新しく連絡網（メーリングリスト）を開設します。詳しくは別紙をご覧ください。

定期開催のお知らせ 何れも申込み不要・無料

定例会

男女共同参画センター デュオにて

7月 1日

8月 5日

9月 2日

いずれも土曜日 13:30～15:30

— どなたでもご自由にご参加下さい

患者・家族会 ひまわりの会（遺族会）

男女共同参画センター デュオにて

（会場は別にとっています）

7月 22日

8月 19日

9月 30日

いずれも土曜日 13:30～15:30

— 突然のがんの告知でどうしていいかわからない方、現在治療中だけど生活の不安をどこへ話したらいいかわからない、家族のがんで悩まれている方、一人で悩まずお話してみませんか？

吹田がん情報コーナー

吹田市役所ロビーにて

7月 13日、27日

8月 10日

9月 14日、28日

いずれも木曜日 13:00～16:00

— がん患者さん、ご家族及び一般市民の皆さんに、がんに関するいろいろな情報をお伝えしています

後援：吹田市・吹田市民病院

がんサポートカフェ

栄えるカフェ in すいたにて

7月 21日

8月 18日

9月 15日

いずれも金曜日 14:00～16:00

— がん患者さん及びご家族と、それをサポートする方々が集う交流の場です。

お気軽にご参加ください。

編集後記

当会も11年目に入り、益々活動の範囲が広がってきました。従来の会員さんと新たに入会された皆さんで、一層の交流を図りたいと思います。宜しくお願いします。

会員の皆様へ～お誘いとお願ひ

会員の皆様のご参加をお待ちしております。

ご意見・ご希望もお聞かせ頂き、ご協力ください。

★掲載可能な“みなさまの体験記”を募集しています

★会報誌の印刷、発送のお手伝いできる方、ご連絡下さい。

会員を随時募集しています

リーフレットのご入用の方は役員までお知らせください。
薬局などにも置かせていただいております。



— がんになっても安心できる吹田のまちづくりを —

吹田ホスピス市民塾

H P <http://suita-hosupisu.jimdo.com>

ブログ http://blog.goo.ne.jp/mangopurin_2013

